

10 家庭

学校番号

T3010

令和 2 年度 家庭科

教科	家庭	科目	(通) 家庭基礎	単位数	1 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校 新版 家庭基礎 とともに生きる・持続可能な未来をつくる (第一学習社)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

- ・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	食べる	○人の一生と食事 ・私たちと食事 ・食生活の変化	○	○		○	a: 日常の食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 写真 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
5		・食生活をとりまく環境の変化					b: 食事の役割を認識し、食生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、判断する能力を身に付けている。	
6		○栄養と食品 ・人体と栄養 ・栄養素の種類と性質 ・加工食品・健康増進のための食品		○	○	○	c: 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。	
		○食生活の安全のために ・食生活の安全と衛生 ・食品の選択と保存	○	○		○	d: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
		○食生活をデザインする ・栄養バランスのよい食事 ・ライフステージと食事 ・献立作成の手順 ・調理の基本		○	○	○		
7	装う	○人の一生と被服 ・人と被服 ・多様な被服 ・被服の選び方	○	○		○	a: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
8		・被服のなりたちと着方					b: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。	
9		○被服材料と管理 ・被服材料の種類と特徴 ・衣料用繊維 ・被服の手入れと保管 ・洗濯のしくみ ・衣生活と資源・環境	○	○	○	○	c: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。	
							d: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	

10	住まう	○人の一生と被服 ・人と住まい ・平面図の活用 ・ライフステージと住まい ・これからの住生活	○	○		○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 自己評価 相互評価 定期考査
11		○住生活の計画と選択 ・快適で健康な住まい ・住まいの安心・安全	○	○	○	○	b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。	
12		・住まいの維持管理 ・日本の住宅事情と住宅政策					c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
1	経済生活を営む	○私たちの暮らしと経済 ・経済生活の中身を知る ・家庭生活と社会とのかかわりを知る	○	○		○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 写真 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
2		・将来の経済生活を考える ○消費者問題を考える ・消費者問題はなぜ起こるのか	○		○	○	b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。	
3		・契約トラブルとその対策 ・契約トラブルとその対策 ・消費者の自立と行政の支援 ○持続可能な社会をめざして ・消費生活と環境問題 ・私たちに何ができるのか					c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。